

硫黄島調査特別委員会速記録

平成27年12月10日（木曜日）午前11時開会

出席委員（7名）

委員長	杉田一男君	副委員長	安藤重行君
委員	佐々木幸美君	委員	稲垣勇君
委員	鯨江満君	委員	一木重夫君
委員	清水良一君		

委員外出席議員（1名）

議長	池田望君
----	------

出席説明員

村長	森下一男君	副村長	渋谷正昭君
教育長	松本隆君	総務課長 総務取扱	渋谷正昭君
総務課副参事	鈴木敏之君	総務課長 企画政策室長	樋口博君
財政課長	江尻康弘君	村民課長	村井達人君
医療課長	佐々木英樹君	産業観光課長	牛島康博君
環境課長	深谷雪雄君	建設水道課長	篠田千鶴男君
母島支所長	湯村義夫君	出納課長	菊池元弘君

事務局職員出席者

事務局長	セーボレー孝君	書記	菊池ひろみ君
------	---------	----	--------

議事日程

- 日程第1 FCLP（空母艦載機離着陸訓練）（日米再編含む）について
- 日程第2 その他の訓練について
- 日程第3 遺骨収集帰還事業について
- 日程第4 硫黄島行政視察について（案）
- 日程第5 その他
- 日程第6 閉会中の継続調査について

◎開会の宣告

○委員長（杉田一男君） ただいまから硫黄島調査特別委員会を開会します。

出席委員が定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

（午前11時）

◎会議時間の延長

○委員長（杉田一男君） あらかじめ会議時間の延長をしておきます。

◎説明員の出欠報告

○委員長（杉田一男君） 次に、説明員の出欠について、事務局長に報告させます。

○事務局長（セーボレー孝君） ご報告いたします。

本日の委員会の説明員につきましては、全員が出席との通知がありました。

以上でございます。

◎FCLP（空母艦載機離着陸訓練）（日米再編含む）について

○委員長（杉田一男君） それでは、本日の議題に入ります。

日程第1、FCLP（空母艦載機離着陸訓練）、日米再編も含みますけれども、これについて執行部からの報告を求めます。

副村長、渋谷君。

○副村長（渋谷正昭君） 前委員会以降の経過でございます。

FCLP（空母艦載機離着陸訓練）（日米再編を含む）については、FCLP訓練の実施はなしということでご報告させていただきます。

○委員長（杉田一男君） ただいまの報告について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

ございませんか。

（「質疑なし」との声あり）

○委員長（杉田一男君） 質疑はもうないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（杉田一男君） 異議なしと認めます。

◎その他の訓練について

○委員長（杉田一男君） 次に、日程第2、その他の訓練について、執行部から報告を求めます。

副村長、渋谷君。

○副村長（渋谷正昭君） その他の訓練としまして、1番目に、エアクッション艇（L C A C）訓練ということで10月29日から11月2日実施、また、12月8日から本日まで、12月10日実施中でございます。本日連絡を受けまして、あす、硫黄島からこちらに来た艦艇がL C A Cを使って物資の輸送を自衛隊の分遣隊に揚陸させるということで伺っております。

次に、硫黄島周辺海域における救難訓練でございますが、別紙にいただいた資料を添付しております。現状は硫黄島周辺に鯨が出没し安全確保に問題があったため、H R S 訓練、ヘリコプターの訓練でございますが、父島二見湾で行ってまいりました。また、潜水訓練を硫黄島のプールや横須賀、館山周辺の海域で実施していたところです。こちらにつきまして、来年度以降でございますが、変更内容としまして、鯨対策機材の調達及び潜水訓練支援ボート等の確保が可能になったことから、平成28年度より父島二見湾での訓練を6回、硫黄島での訓練を6回と、従来、12回を父島で行っていたものを半分ずつにするということです。また、1回の訓練時間は2～3時間程度であり、海面を占有するものではないということで伺っております。

お手元の別添の資料の1枚目に資料がございます。二見湾でこのような形でホバーリングをしながら海中にいる救助者を助けるというような訓練がこれまで行われてまいりました。

2枚目の安全対策の中の（3）に、訓練員はシャークシールドを装着しますということで、バッテリーの作動による鯨が嫌がる磁界を発生させる市販の装置を装着して行うということと、警戒艇のゴムボートが用意できると、こういったことから硫黄島での訓練も6回行いたいということで承っております。

そのほかは、従来、父島等ではかわりがなかったんですが、潜水訓練、プールで行っていたり、館山等で行っていたものを、実際、硫黄島でも行うというようなことでお聞きしております。

報告は以上でございます。

○委員長（杉田一男君） ただいまの報告について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

さい。

ございませんか。

(発言する者なし)

○委員長(杉田一男君) 質疑はないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(杉田一男君) 異議なしと認めます。

◎遺骨収集帰還事業について

○委員長(杉田一男君) 次に、日程第3、遺骨収集帰還事業について、執行部から報告を求めます。

副村長、渋谷君。

○副村長(渋谷正昭君) 遺骨収集帰還事業についてご報告させていただきます。

まず、滑走路掘削通年実施予定の事業でございますが、第19回の9月10日から第23回まで、こちらについては中止になっております。こちらは硫黄島での濁水により隊への受け入れができなかったということでの中止と伺っております。

第24回の10月15日以降32回の実施中まで行っておりますが、この中の第29回がやはり中止になりました。こちらについては、隊の運用上の支障があったため受け入れられず中止になったということでお伺いしております。

次のページで遺骨収容でございますが、第3回が昨日までの11月25日から12月9日で実施されました。収容柱数は9柱ということで、村及び在住の硫黄島旧島民の会より9名参加し、第1回から第3回の今年度の収容累計数は16柱となっております。

報告は以上でございます。

○委員長(杉田一男君) ただいまの報告について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

ございませんか。

(「なし」との声あり)

○委員長(杉田一男君) 質疑がないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長（杉田一男君） 異議なしと認めます。

◎硫黄島行政視察について（案）

○委員長（杉田一男君） 次に、日程第4、硫黄島行政視察（案）について、事務局長に説明させます。

○事務局長（セーボレー孝君） 硫黄島行政視察について（案）をお手元に配付しております。硫黄島行政視察。

1、実施日、平成28年2月2日火曜日、予備日、2月3日水曜日。

2、目的、硫黄島所在防衛施設の現況調査等でございます。

3、視察予定者、委員長杉田一男外副委員長、委員3名の合計4名でございます。

以上でございます。

○委員長（杉田一男君） ただいま説明のとおり硫黄島行政視察を実施したいと思います。

なお、日程等詳細につきましては、正副委員長にご一任いただきたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（杉田一男君） 異議なしと認めます。

◎その他

○委員長（杉田一男君） 次に、日程第5、その他事項として執行部から報告を求めます。

副村長、渋谷君。

○副村長（渋谷正昭君） その他事項として報告させていただきます。

お手元の資料をごらんください。

まず1番目に、基地交付金・調整交付金交付額の決定についてでございます。基地交付金・調整交付金の27年度の交付額の決定がございました。平成27年度は基地交付金8,116万3,000円、調整交付金4,789万4,000円、合計1億2,905万7,000円となっております。それぞれ26年度の比較で、基地交付金が66万3,000円、調整交付金が18万2,000円、合計84万5,000円の増額となっております。この増額でございますが、通常計算で算定される部分の対象資産の評価額が減少したにもかかわらず増額となっております。総額のうち、基地交付金については10分の3、調整交付金については3分の1の額を所在地の状況に配慮して配分しているということになっておりますので、8月に行いました要望活動等の成果と考えら

れます。

次に、2としまして特定防衛施設周辺整備調整交付金交付額の決定がございました。こちらの平成27年度の決定額は5,857万9,000円でございます。26年度に比較しまして201万9,000円の増額となっております。こちらの交付金につきましては、平成23年度に硫黄島飛行場施設が特定防衛施設として指定されたことに伴い交付されることとなっております。こちらにも昨年に引き続き増額となっておりますが、同様に算定する基礎額の増になる要素がございませんので、基地交付金等と同時に行いました要望活動等の成果と考えられます。

続きまして、硫黄島戦没者追悼式（東京都主催）でございますが、こちらは10月15日に実施され、会場は東京都の鎮魂の丘で行われました。出席者は101名、うち遺族が60名で、今回は戦後70年ということもございまして、東京都知事、また、三宅都議ほかも参加されました。小笠原村からは在住硫黄島旧島民の会より事務局長が出席をしております。この際には、知事へのさまざまなご案内をしたというふうにお伺いしております。

続きまして、硫黄島及び北硫黄島旧島民の墓参についてでございます。こちらにも東京都が年に2回実施している墓参でございますが、10月26日から10月21日実施で、宿泊墓参でございます。参加者は39名で、村及び在住硫黄島旧島民の会より4名が参加しております。

続いて、硫黄島旧島民平和祈念公園管理事業でございますが、第3回目を10月27日から10月31日で実施いたしました。村及び在住硫黄島旧島民の会より5名が参加して管理事業を行ったところでございます。

続いて、硫黄島慰霊巡拝事業でございますが、こちらは厚生労働省主催のもので、第1次の事業が11月11日実施され、参加者86名、うち遺族51名で、参加者の移送については民間機をチャーターして実施されたと聞いております。

続きまして、前回の委員会におきまして一木委員からご質問のありました衆議院の厚生労働委員会による硫黄島視察の件でございますが、9月7日に遺骨収集帰還事業の現地調査として実施されたということで、参加国会議員は28名であったということを報告を受けました。なお、今後、このような視察がある場合には事前に連絡をいただけるよう厚生労働省には申し入れをしたところでございます。

報告は以上でございます。

○委員長（杉田一男君） ただいまの報告について、質疑、意見のある委員は挙手をしてください。

ございませんか。

(発言する者なし)

○委員長(杉田一男君) 質疑がないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(杉田一男君) 異議なしと認めます。

また、そのほかで委員の方からの何か提案はございますか。

(発言する者なし)

○委員長(杉田一男君) それでは、ないようですので、これにて質疑を終了します。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(杉田一男君) 異議なしと認めます。

◎継続調査の申し出について

○委員長(杉田一男君) 次に、日程第6、本委員会の閉会中の継続調査についてお諮りします。

お手元に配付の事件調査のために閉会中の継続調査の申し出をしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(杉田一男君) 異議なしと認めます。

よって、閉会中の継続調査を申し出ることいたしました。

◎閉会の宣告

○委員長(杉田一男君) お諮りします。

本日の議題は終了しましたので、これをもって本委員会を終了したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(杉田一男君) 異議なしと認めます。

よって、本日の委員会を閉じます。

これもちまして、硫黄島調査特別委員会を閉会いたします。

(午前11時15分)